月刊 あなたにこの本を！ 平成 20 年 4 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

図書館が教えてくれた発想法

高田高史 著
柏書房 1890 円（0011549805）

ジャンル ： 知識・教養を深める

著者は、第一線で働く図書館司書。本書では、図書館で働くことになった主人公が、司書から調べものについて教えてもらうというストーリーを通して、検索のプロセスとコツが紹介される。読み進めていくうちに、検索する分野を絞り込んだり、キーワードを使って連想ゲームのように調べていく図書館ならではの発想法が、自然と身についてくる。図書館初心者の主人公と一緒にのんびり楽しみながら学ぶことができ、図書館で実践してみたくなる。〔015.2〕

大大阪イメージ ―増殖するマンモス/モダン都市の幻像―

橋爪節也 編著
創元社 2520 円（0011552986）

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

大正 14 年、大阪市は市域拡張により東京を抜き、人口が世界6位となる大都市「大大阪(だいおおさか)」となった。当時の大阪は世界的な都市を目指し、活気に満ちあふれていた。本書では、「大大阪」という言葉のもつイメージ・都市像が、美術や文学、音楽、歴史など、文化的な動向に与えた影響について、研究者 13 人が探究する。誕生から 80 年以上経ったいま、大阪市民の心に様々な力を及ぼした「大大阪」について、新たな切り口で描き出す意欲作。〔216.3〕

空飛ぶナース

山本ルミ 著
新潮社 1470 円（0011535158）

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

外国人専門病院の看護師である著者。彼女のもう一つの顔が、海外へ病人を搬送したり、海外で病気になった日本人の帰国に付き添ったりする、日本初の「エスコート・ナース」だ。観光地を一目も見ることができないまま日本とスイスを連続で2往復する一方で、患者の航空券紛失やお土産購入に付き合わされて空港中を駆け回る。紹介されるそのパワフルな仕事ぶりからは、真摯(しんし)に患者と向き合おうとする職業人としての高い誇りが伝わってくる。〔498.12〕

戦争格差社会アメリカ　ーヒロシマ記者が歩くー

田城　明　著　　ジャンル　：　現代社会を見つめる

岩波書店　1995円（0011543376）

多くのイラク帰還兵が、やむを得ずホームレスになっている。多くのアラブ系住民がテロリストと間違われ、その後の人生を狂わされる。多額の軍事費のしわ寄せで災害復興が遅れ、多くの人が故郷に帰れない。「ヒロシマ記者」と呼ばれ、被爆者や核問題への取材を精力的に行っている著者が、現代アメリカ社会の闇(やみ)に光をあてた。戦争によるゆがみが国民の人権を奪ってゆくさまが痛ましく、日本に住む私たちにも深刻さが伝わってくる。　〔392〕

過労死サバイバル　ー仕事ストレスが心身を蝕む前にー

上畑鉄之丞　著　　ジャンル　：　現代社会を見つめる

中央法規出版　1365円（0011551606）

不況に伴う労働条件の悪化により、過労死問題が年々深刻化している。著者は日本ではじめて「過労死」という概念を公式に提唱し、医師として長年この問題に取り組んできた。本書では、24時間ぶっ通し勤務が続くファーストフード店など著者が対応した相談事例をもとに、その過酷な労働条件の実態と問題点に迫る。働きすぎで死なないためにはどうすれば良いのか？　巻末では外国の労災補償についても触れ、労働過多の日本社会に警鐘を鳴らす。〔498.8〕

大工が教えるほんとうの家づくり

阿保昭則　著　　ジャンル　：　知識・教養を深める

文藝春秋　1680 円（0011522556）

腕利きの大工である著者が語る家づくりの条件は「素材、設計、技術、そしてつくる人間のこころ」だ。この条件がそろえば、少ない予算でもいい家はできるという。本書では、シックハウス症候群に悩む施主との真剣な対話の末に完成させた家をはじめとして、見て美しく住む人の健康にもよい住宅の魅力を紹介する。また、天然素材を用いた家づくりの実例を図や写真を交えてわかりやすく解説。豊かな住まいづくりについて見直すきっかけとなる。〔527〕

江戸奉公人の心得帖　ー呉服商白木屋の日常ー

油井宏子　著　　ジャンル　：　知識・教養を深める

新潮社　714円（0011555536）

本書は、江戸の大呉服商である白木屋（しろきや）に伝わる古文書「白木屋文書」を題材に、奉公人たちの暮らしぶりや商いの様子を鮮やかに描き出す。店の規則帳や、奉公人の不正を取り調べた記録からは、会議をさぼって蔵にこもったり、お客様のお相伴をして泥酔してしまう奉公人がいたことがわかる。現代にも共通する江戸庶民の生活がわかりやすく説明されており、奥深い古文書の世界が身近に感じられる。〔672〕

日記をのぞく

日本経済新聞社　編　　ジャンル　：　歴史・文化に親しむ

日本経済新聞出版社　1785 円（0011536273）

外交官ハリスの日記には、日本の混浴について「何事にも間違いのない国民が、どうしてこのように品の悪いことをするのか」と記され、彼の謹厳実直ぶりがうかがえる。本書は、平安貴族、文学者など歴史上の著名人 25 人の人物像を、日記を引用して、その文言を書くに至った経緯や歴史的背景を含め、わかりやすく紹介。日記を書いた人物の様々な感情が綴られる中に、古今東西の有名人の新たな一面をみることができる。新聞連載の単行本化。〔915〕